

元培科技大学(台湾)国際交流サマースクール

報告書

2014 Yuanpei University Summer School for Chinese Learning and Healthcare
Industry Site Visit. Special program for Kyoto College of Medical Science

医療科学部 放射線技術学科 3回生 山本 安澄

私達、京都医療科学大学の1年生2名・2年生1名・3年生9人と石垣先生・富高先生の計14名は、8月10日から16日までの1週間、元培科技大学へ国際交流サマースクールに行きました。このサマースクールを通して元培科技大学の生徒達とたくさん交流し、様々なことを学ぶことができました。それに加えて私達京都医療科学大学の生徒の学年を超えた友情も築くことができました。以下より、国際交流サマースクールの1週間で撮った写真の中から6枚を選んで、そのときの様子をお伝えしたいと思います。



台湾の日差しは強いと言うことを聞いていたので、外出の際はサングラスを着用しました。大勢で海外に行き、サングラスをかけるということが今までなかったので、テンションが上がって写真を撮りまくりました。台湾の学生ボランティアの子達が、写真を撮りまくっている私達を不思議そうな顔をして見ていました。

元培科技大学では、太極拳を教えてもらいました。私達は筋肉痛になる位必死に太極拳をしました。右の写真は富高先生が太極拳をしているところを撮影した写真です。みんなで笑いながら太極拳をしてとても楽しかったし、大変貴重な経験をさせて頂いて本当に良かったなと思いました。





右の写真は私たちのホテルの部屋に台湾の学生を招いて、みんなで日本の”みのりかリズム4”というゲームをした様子を写したものです。罰ゲームには、日本の罰ゲームの代名詞ともいえる尻字をしました。日本のゲームや罰ゲームが台湾の学生に通用するか不安でしたが、楽しんでくれて良かったです。私達にとっても、経験になりました。

私達はこのサマースクールに向けて、出し物として“会いたかった”のダンスを練習していたのですが、他大学の出し物とみごとに被ってしまい、急遽台湾で“女々しくて”のダンスを練習し、披露しました。急な変更でしたが、限られた時間の中で必死に練習して、満足のいくパフォーマンスができました。



左の写真は国際交流サマースクールに参加した京都医療科学大学の学生と、私達の担当をしてくれた元培科技大学の学生の集合写真です。最初はお互い緊張していて溝があったけれど、すぐに仲良くなることができました。話す言葉と住む地域が違うだけで、話せばすぐに分かり合えることがわかりました。



右の写真は最終日に他大学の子と、元培科技大学の子と撮影した写真です。この国際交流サマースクールでは、元培科技大学の学生はもちろんのこと、他大学の学生とも交流をすることができました。この一週間では様々な体験を通し、色々なことを学ぶことができました。何よりもすごく楽しかったです。この経験を活かし、立派な医療従事者になりたいです。

